

プレスリリース

平成 29 年度センチュリー文化財団寄託品展覧会

空海と密教の典籍

慶應義塾大学は、平成 29 年 11 月 13 日（月）から 12 月 15 日（金）まで、附属研究所^{しど}ス道文庫の保管するセンチュリー文化財団寄託品を中核とした展覧会「空海と密教の典籍」を開催します。

〈展示趣旨〉

入唐^{にっぽう}して日本に体系的な密教をもたらした空海（774-835）。その活動は広範囲にわたっており、唐から經典や法具を請来すると共に、独創的な著作を多く著わしています。後世には伝説化した事蹟が弘法大師伝に描かれ、空海に仮託した書物も作られました。また、真言密教の教えは、多くの法流に分岐しながらも脈々と受け継がれ、中世には貴族社会・武家社会の求めに応じて、多様な密教儀礼が展開します。そうした密教儀礼（^{すほう}修法）に際しても、多くの典籍が作られていきました。

本展では、空海の著作やその注釈書を通して、空海の事績と伝承を紹介します。また、密教儀礼に伴って作られた典籍や仏画を通して、中世の密教僧の営みにも光を当てます。あわせて、密教や空海への信仰が、文芸など他の領域に及ぼした影響も取り上げ、密教文化の広がりを探ります。

〈開催概要〉

○会場・開室時間

第 1 会場：慶應義塾図書館展示室[三田]（会期：11 月 13 日-12 月 15 日）

平日 9:00-18:20 土曜 9:00-16:50 （閉室日）日・祝日・11 月 23- 26 日

第 2 会場：慶應義塾大学アートスペース（会期：11 月 13 日-12 月 8 日）

平日 10:00-17:00 （閉室日）土・日・祝日・11 月 23- 26 日

* 第一会場と会期・開室時間が異なります。

○入場料：無料

○ギャラリートーク（参加無料、予約不要。いずれも第 1 会場集合）

第 1 回：11 月 16 日（木）14：40～

第 2 回：12 月 1 日（金）14：40～

○主催

慶應義塾大学附属研究所ス道文庫 慶應義塾大学アート・センター 慶應義塾図書館

○お問い合わせ先

慶應義塾大学附属研究所ス道文庫

03-5427-1582 <http://www.sido.keio.ac.jp/>

〈主要展示品〉

○「弘法大師像」 1 幅 絹本着色 〔室町〕時代

弘法大師空海の入定に際して真如親王（平城天皇第三皇子、高岳親王）が描き、高野山御影堂に安置したと伝承される大師像の系統（真如親王様）に属するもの。

○「種子 両界曼荼羅」 2 幅 紙本着色 〔鎌倉〕時代

仏・菩薩などの諸尊を、「種子」と呼ばれる梵字で象徴的に示す形態の曼荼羅。紺紙に金泥で描かれている。

○『弘法大師 請来目録』 空海撰 1 帖 天文 4 年（1535）写

空海が大同元年（806）に唐から帰国した際、もたらした新訳経や仏像・道具等、約 250 点を記し、朝廷に献上した目録。天文 4 年に安芸国（現広島県西部）の僧が、高野山往生院二階堂で伝受された写本。

○『秘密曼荼羅 十住心論』 空海撰 10 卷（卷一欠）9 帖 建長 6 年・正嘉 3 年（1254-59）刊（高野版）

空海の主著で、天長 7 年（830）淳和天皇の勅命に应じて、真言宗の教義をまとめ撰述したもの。建長年間以降、高野山において空海の著作などを刊行した「高野版」と呼ばれる寺院出版の、比較的初期の本になる。

○『遍照發揮性靈集』 真済編 10 卷（卷第一・二・五欠）7 冊 慶長 12 年刊（高野版）

空海の詩文を弟子の真済が編纂したもの。徳川家康に高野山支配を任された勢嘗が慶長 12 年に刊行したもので、この年に刊行された性靈集は他に伝本が確認できない稀本。

弘法大師像



遍照發揮性靈集（高野版）

